

チョイス & チェンジ

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2012年1月発行 (2011年12月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」の生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<http://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続やご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。

 **CRÉDIT AGRICOLE**
LIFE INSURANCE
クレディ・アグリコル生命

カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類

特別勘定名		主な投資対象となる投資信託名	特別勘定の運用方針と主なリスク	投資信託の運用会社等	運用関係費用 ^(注1)
日本株式	日本株式(RG)	CAリそな ジャパン・バリュー・ファンドVA (適格機関投資家専用)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 ■価格変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.147% (税抜 0.14%)程度 (実質税込:最大年率 0.697% 程度) ^(注2)
	日本中小型株式(RG)	SG 日本小型株VA (適格機関投資家専用)	国内の中小型株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 ■価格変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.7875% (税抜 0.75%) 程度
海外株式	欧州株式(RG)	DWS欧州株式ファンドVA (適格機関投資家専用)	欧州株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク等があります。	(運用会社) ドイチェアセット・マネジメント株式会社 (投資顧問会社) DWS インベストメント GmbH	年率 0.798% (税抜 0.76%) 程度
	米国株式(RG)	フィデリティ・US エクイティ・インカム・ ファンド (適格機関投資家専用)	米国株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク等があります。	(運用会社) フィデリティ投信株式会社 (投資顧問会社) ピラミッド・グローバル・ アドバイザーズ・エルエルシー	年率 0.756% (税抜 0.72%) 程度
	海外株式(RG)	CAリそな グローバル・ ブランド・ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:ティアラVA>	日本を除く世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク等があります。	(運用会社) アムンディ・ジャパン株式会社 (投資顧問会社) アムンディ	年率 0.4935% (税抜 0.47%) 程度
株式	中国株式(RG)	CA グラン・チャイナ・ ファンドVA (適格機関投資家専用)	中国経済圏の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.147% (税抜 0.14%)程度 (実質税込:最大年率 0.847% 程度) ^(注2)
	インド株式(RG)	CAリそなインド ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:マハラジャVA>	インドの株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.147% (税抜 0.14%)程度 (実質税込:最大年率 0.847% 程度) ^(注2)
	インド・ インフラ株式 (RG)	CAリそな インド・インフラ株式 ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:マハラジャインフラVA>	インドのインフラ関連株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.315% (税抜 0.30%)程度 (実質税込:最大年率 1.165% 程度) ^(注2)
	アジア株式(RG)	CAリそな アセアン・ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:メコンVA>	アセアン諸国(東南アジア諸国連合)の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.147% (税抜 0.14%)程度 (実質税込:最大年率 0.847% 程度) ^(注2)
	新興国株式(RG)	DWS世界新興国株式 ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:BRICs プラスVA>	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	(運用会社) ドイチェアセット・ マネジメント株式会社 (投資顧問会社) DWS インベストメント GmbH	年率 0.9975% (税抜 0.95%) 程度

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定の種類

特別勘定名		主な投資対象となる投資信託名	特別勘定の運用方針と主なリスク	投資信託の運用会社等	運用関係費用 ^(注1)	
債券	日本債券	日本債券(RG)	CA日本債券ファンドVAD (適格機関投資家専用)	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。 ■金利変動リスク等があります。	(運用会社) アムンディ・ジャパン株式会社 (投資顧問会社) 株式会社りそな銀行	年率 0.1575% (税抜 0.15%) 程度
	海外債券	海外国債(RG)	SG 海外国債 インカムファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を除く主要国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■金利変動リスク、為替変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.483% (税抜 0.46%) 程度
	海外投資適格債券	海外投資適格債券(RG)	CA米国・ユーロ投資適格債券 ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称りそな ペア・インカムVA>	米国および欧州の投資適格債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.1995% (税抜 0.19%)程度 (実質税込:最大年率 0.7329% 程度) ^(注2)
	海外ハイイールド債券	海外ハイイールド債券(RG)	CA米国・ユーロ高利回り債券 ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称りそな ペア・ハイインカムVA>	米国および欧州のハイイールド債券(高利回り債券)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率 0.1995% (税抜 0.19%)程度 (実質税込:最大年率 0.882% 程度) ^(注2)
	新興国国債	新興国国債(RG)	JPM新興国ソブリン ファンドVA (適格機関投資家専用)	新興国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 ■金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。	(運用会社)JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 (投資顧問会社)J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インク	年率 0.7875% (税抜 0.75%) 程度
不動産投資信託	グローバルリート	グローバルリート(RG)	CAグローバルREITファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等があります。	(運用会社) アムンディ・ジャパン株式会社 (投資顧問会社) 株式会社りそな銀行	年率 0.504% (税抜 0.48%) 程度
金融市場	マネー	マネープール(RG)	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。 ■金利変動リスク等があります。	アムンディ・ジャパン株式会社	各月ごとに決定 ^(注3)

注1 主に利用する投資信託の信託報酬を記載しています。信託財産に対し、所定の率を乗じた金額が毎日控除されます。この他、投資対象となる投資信託の信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料、監査費用、信託財産留保額等がかかる場合があります。運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

注2 以下の投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。

・CAりそな ジャパン・バリュー・ファンドVA ・CAりそなインド・インフラ株式ファンドVA ・CA米国・ユーロ投資適格債券ファンドVA
 ・CA グラン・チャイナ・ファンドVA ・CAりそな アセアン・ファンドVA ・CA米国・ユーロ高利回り債券ファンドVA
 ・CAりそなインド ファンドVA

注3 CAマネープールファンドの信託報酬は以下のとおりとなります。

- ①信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に②の率を乗じて得た額とします。
- ②信託報酬率は、各月ごとに決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの当該率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.315(税抜0.3)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.0525%(税抜0.05%)未満の場合には、年0.0525%(税抜0.05%)の率とし、年0.3675%(税抜0.35%)を超える場合には、年0.3675%(税抜0.35%)とします。なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

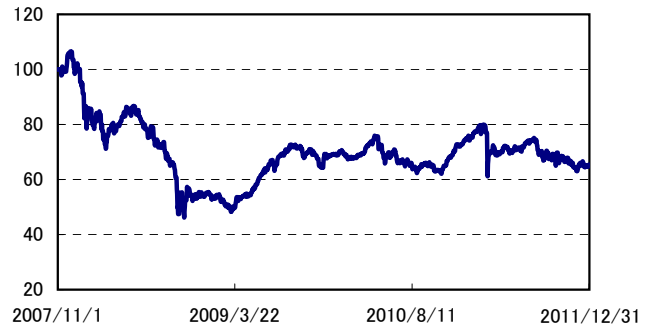
(2011年12月31日現在)

日本株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	62.01	1ヵ月	-0.80%	投資信託	95.06%
		3ヵ月	-4.05%		
		6ヵ月	-13.70%	現預金等	4.94%
		1年	-19.50%		
		3年	-4.98%		
設定来		-37.99%			

日本中小型株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	65.35	1ヵ月	0.31%	投資信託	95.05%
		3ヵ月	-6.32%		
		6ヵ月	-10.81%	現預金等	4.95%
		1年	-10.15%		
		3年	18.21%		
設定来		-34.65%			

欧州株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	41.54	1ヵ月	0.60%	投資信託	93.36%
		3ヵ月	-0.40%		
		6ヵ月	-31.56%	現預金等	6.64%
		1年	-27.44%		
		3年	0.15%		
設定来		-58.45%			

米国株式 (RG)



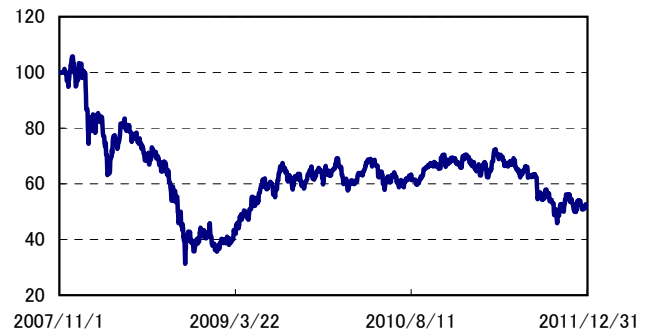
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	62.94	1ヵ月	5.06%	投資信託	95.34%
		3ヵ月	10.51%		
		6ヵ月	-11.98%	現預金等	4.66%
		1年	-9.98%		
		3年	18.31%		
設定来		-37.05%			

海外株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	78.43	1ヵ月	3.49%	投資信託	95.72%
		3ヵ月	7.61%		
		6ヵ月	-7.46%	現預金等	4.28%
		1年	-1.22%		
		3年	52.12%		
設定来		-21.57%			

中国株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	51.46	1ヵ月	-0.61%	投資信託	95.35%
		3ヵ月	1.38%		
		6ヵ月	-19.74%	現預金等	4.65%
		1年	-21.92%		
		3年	25.00%		
設定来		-48.54%			

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄（・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等）を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2011年12月31日現在)

インド株式 (RG)



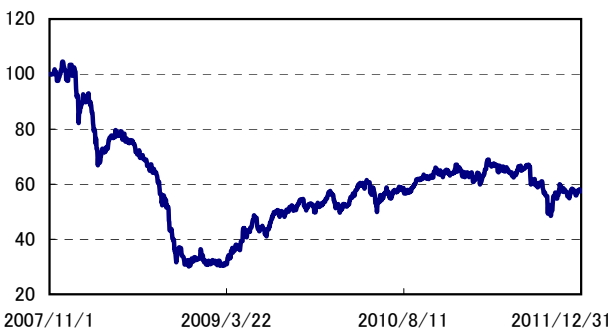
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	40.80	1ヵ月	-6.04%	投資信託	95.65%
		3ヵ月	-14.74%		
		6ヵ月	-32.36%	現預金等	4.35%
		1年	-37.38%		
		3年	21.62%		
設定来		-59.19%			

インド・インフラ株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	49.99	1ヵ月	-10.06%	投資信託	95.19%
		3ヵ月	-19.64%		
		6ヵ月	-36.27%	現預金等	4.81%
		1年	-42.38%		
		3年	8.39%		
設定来		-50.00%			

アジア株式 (RG)



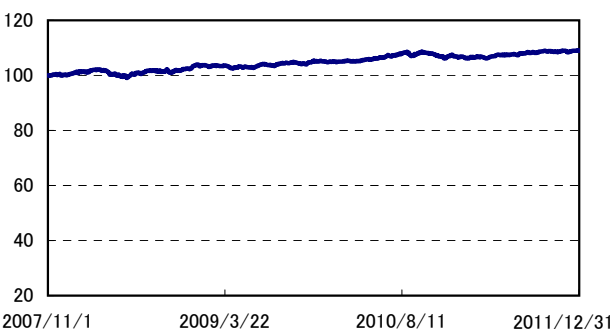
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	57.44	1ヵ月	1.81%	投資信託	94.71%
		3ヵ月	9.94%		
		6ヵ月	-10.24%	現預金等	5.29%
		1年	-10.36%		
		3年	74.45%		
設定来		-42.56%			

新興国株式 (RG)



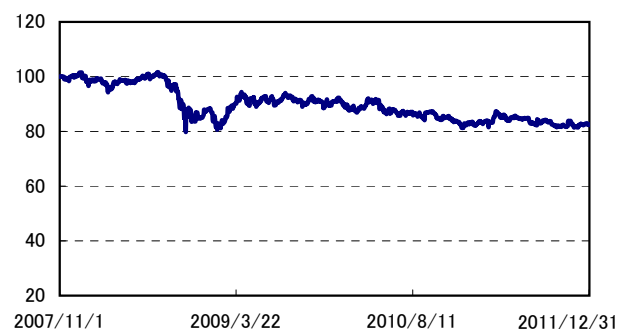
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	52.51	1ヵ月	-1.61%	投資信託	94.84%
		3ヵ月	2.94%		
		6ヵ月	-21.17%	現預金等	5.16%
		1年	-23.46%		
		3年	35.25%		
設定来		-47.48%			

日本債券 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	109.02	1ヵ月	0.58%	投資信託	94.69%
		3ヵ月	0.35%		
		6ヵ月	1.32%	現預金等	5.31%
		1年	1.52%		
		3年	4.89%		
設定来		9.02%			

海外国債 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	82.37	1ヵ月	0.21%	投資信託	95.41%
		3ヵ月	0.52%		
		6ヵ月	-2.76%	現預金等	4.59%
		1年	1.28%		
		3年	-6.54%		
設定来		-17.62%			

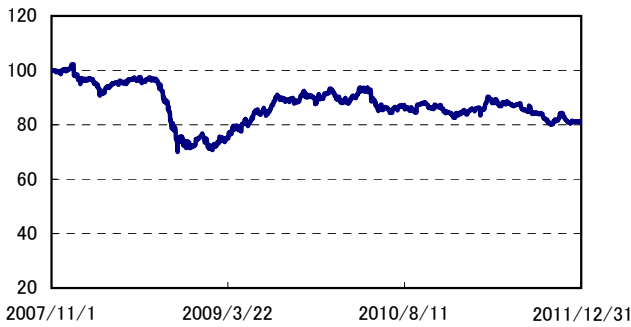
※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄（・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等）を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

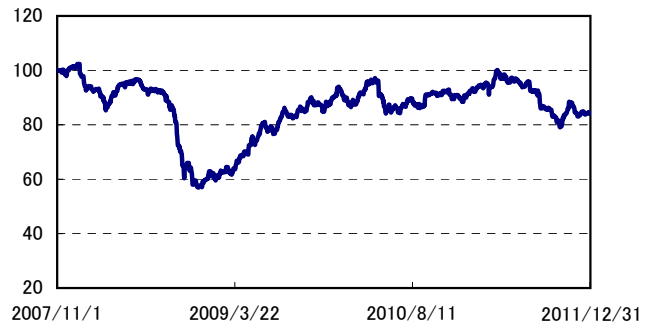
(2011年12月31日現在)

海外投資適格債券 (RG)



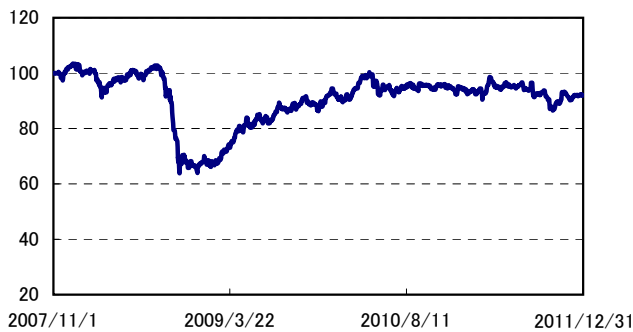
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	81.03	1ヵ月	0.15%	投資信託	95.19%
		3ヵ月	0.20%		
		6ヵ月	-7.30%	現預金等	4.81%
		1年	-1.82%		
		3年	7.21%		
設定来		-18.96%			

海外ハイイールド債券 (RG)



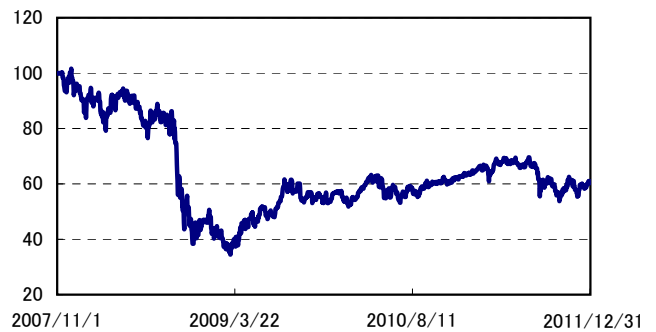
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	84.22	1ヵ月	0.79%	投資信託	95.45%
		3ヵ月	3.38%		
		6ヵ月	-11.03%	現預金等	4.55%
		1年	-4.86%		
		3年	39.98%		
設定来		-15.77%			

新興国国債 (RG)



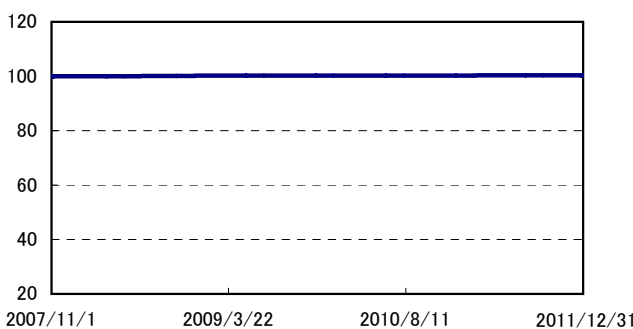
ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	91.99	1ヵ月	0.99%	投資信託	95.55%
		3ヵ月	5.01%		
		6ヵ月	-3.65%	現預金等	4.45%
		1年	-0.36%		
		3年	35.46%		
設定来		-8.01%			

グローバルリート (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	60.64	1ヵ月	4.46%	投資信託	95.07%
		3ヵ月	6.55%		
		6ヵ月	-9.96%	現預金等	4.93%
		1年	-3.30%		
		3年	31.81%		
設定来		-39.36%			

マネープール (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比		
	100.31	1ヵ月	0.01%	投資信託	56.54%
		3ヵ月	0.01%		
		6ヵ月	0.01%	現預金等	43.46%
		1年	0.02%		
		3年	0.12%		
設定来		0.31%			

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄（・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等）を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAリそな ジャパン・バリュー・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、わが国の株式に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.91%	-4.29%	-14.72%	-18.35%	-3.41%	-36.80%

◆ ファンド概況

基準価額	6,320円
純資産総額	145百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・ジャパン・バリュー	98.27%
CAマネープールファンド	0.22%
現預金等	1.51%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の国内株式市場は、TOPIXが前月末比0.02%上昇の728.61ptで終了しました。市場では引き続き欧州債務問題が懸念されましたが、堅調な米国経済指標が下支えとなり小幅上昇となりました。

上旬は、11月30日の主要6中央銀行によるドル資金の供給拡充合意が好感され上昇しました。しかし、格付会社がユーロ圏15か国の国債格下げを示唆したこと、ECB(欧州中央銀行)理事会で国債購入の拡大に否定的な見解が示されたことで上げ幅は縮小しました。中旬にかけてEU首脳会議の財政規律合意が評価され株価は上昇するも、債務対策の効果が疑問視されたこと、日銀短観で予想以上に景況感の悪化が見られたことから株式市場は軟調な動きとなりました。下旬は、年末を控え市場参加者が減少する中、米国経済指標が堅調だったことから株式市場は反発しました。ただし、アジア株が軟調な推移となっていること、ユーロが対円で約10年半ぶりの水準まで下落したことから上値は重く、月間では小幅の上昇にとどまりました。

「CAリそな ジャパン・バリュー・ファンドVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・ジャパン・バリュー」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.83%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.72%
3	キヤノン	電気機器	2.97%
4	本田技研工業	輸送用機器	2.81%
5	三井物産	卸売業	2.42%
6	日本電信電話	情報・通信業	2.28%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.03%
8	東京海上ホールディングス	保険業	1.89%
9	第一三共	医薬品	1.87%
10	東日本旅客鉄道	陸運業	1.79%
組入全銘柄数: 81 銘柄		上位10銘柄合計	25.60%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
電気機器	16.30%
輸送用機器	9.76%
銀行業	9.64%
情報・通信業	6.89%
機械	6.09%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本中小型株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

SG 日本中小型株VA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

東証1部およびその他市場、店頭市場への上場・登録銘柄を主要投資対象とします。

○投資方針

・小型株市場の中から、徹底したファンダメンタル・リサーチにより成長企業を発掘し、バリュエーション分析で銘柄の割安度を総合判断して投資することで、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

・Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。

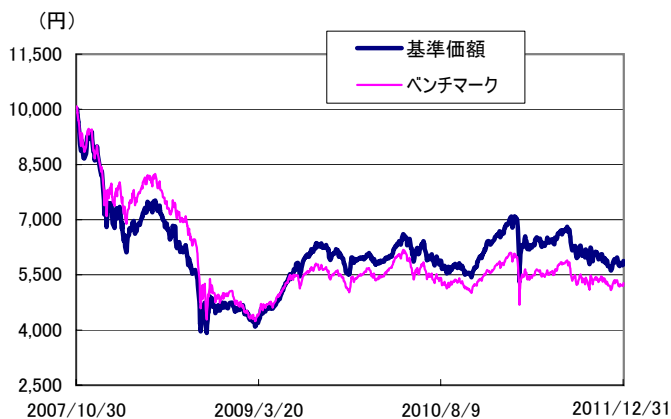
・ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。

※ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.67%	-5.74%	-11.32%	-8.02%	24.12%	-41.24%
ベンチマーク	0.32%	-3.68%	-8.37%	-5.74%	4.41%	-47.26%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

ベンチマークは設定日前日を10,000として指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

順位	銘柄	業種	比率
1	ユニプレス	輸送用機器	2.82%
2	サイバーエージェント	サービス業	2.78%
3	ソネットエンタテインメント	情報・通信業	2.51%
4	カカクコム	サービス業	2.49%
5	エムスリー	サービス業	2.48%
6	インターネットイニシアティブ	情報・通信業	2.46%
7	メガチップス	電気機器	2.34%
8	ツルハホールディングス	小売業	2.22%
9	マクニカ	卸売業	2.18%
10	イオンデイライト	サービス業	2.17%
組入全銘柄数: 91		銘柄 上位10銘柄合計	24.44%

※1 比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ ファンド概況

基準価額	5,876 円
純資産総額	15 百万円
設定日	2007年10月31日
決算日	原則9月10日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	99.49%
内現物	99.49%
内先物	0.00%
現預金等	0.51%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 市況コメント

12月の小型株市場は、中旬に一時下げに転じる場面もありましたが、欧州債務問題と米国景気の先行きに対する不安感がやや弱まり、小幅ながら反発しました。特に、11月に急落していたマザーズなどの新興市場の値上がりが見られました。大型株市場においては、電気機器などの主力セクターに下落したものが多かったため、全体としてはほぼ横ばいの動きとなりました。結果として、当月に関しても、小型株のパフォーマンスは大型株に比べ良好なものとなりました。

当ファンドの月間の騰落率は0.67%と、ベンチマーク(0.32%)に比べやや好調な成績となりました。11月に急落した銘柄の一部が反発したほか、12月に好決算を発表した銘柄は全般的に上昇し、相対パフォーマンスが改善しました。投資行動では、株価上昇により割安感が薄れた銘柄のウェイト引き下げを行う一方、業績見通しの上方修正が期待できる銘柄や長期的な成長が予想される銘柄、業績の回復が見込まれる銘柄のウェイト引き上げを実施しました。

◆ 組入上位5業種および市場^{※2}

業種	比率	市場	比率
サービス業	14.51%	東京一部	77.50%
情報・通信業	14.41%	JASDAQ	10.15%
電気機器	13.11%	東京二部	6.73%
小売業	12.42%	大阪一部	5.63%
卸売業	6.69%		

※2 各比率は、マザーファンドの組入株式評価額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

欧州株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS欧州株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメントGmbH

2011年12月30日現在

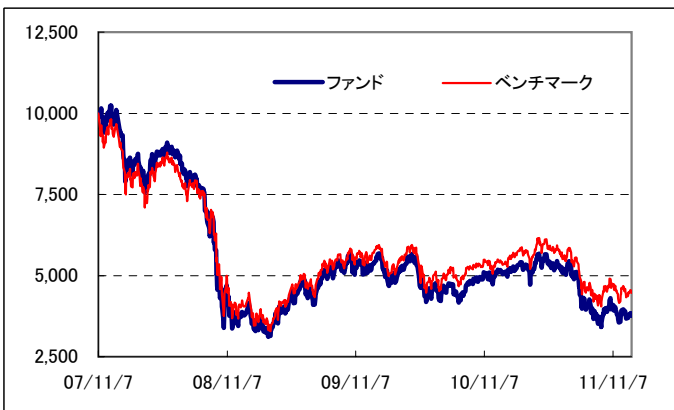
◆ ファンドの特色

・DWS欧州株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。マザーファンドにおける信託財産の純資産総額の75%以上は欧州連合(EU)加盟国、ノルウェー、アイスランド(主要投資対象国)のいずれかに本社が所在する発行体の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 ・毎決算時(原則として12月6日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益配分方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。
 ・ベンチマークはMSCIヨーロッパ(配当込み)とします。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.56%	2.46%	-28.40%	-24.93%	-1.15%	-62.03%
ベンチマーク	1.55%	2.26%	-21.14%	-16.10%	8.99%	-55.11%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。
 ファンドおよびベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄[※]

順位	銘柄	国名	業種	比率	
1	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A UK	イギリス	エネルギー	4.76%	
2	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	4.21%	
3	BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	3.94%	
4	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	3.81%	
5	LINDE AG	ドイツ	素材	3.76%	
6	ROCHE HOLDING AG GENUSSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.84%	
7	GLAXO SMITHKLINE	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.63%	
8	LVHM MOET-HENNESSY LOUIS VUITTON	フランス	耐久消費財・アパレル	2.62%	
9	HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	ドイツ	家庭用品・パーソナル用品	2.52%	
10	SAIPEM	イタリア	エネルギー	2.46%	
組入全銘柄数: 54 銘柄				上位10銘柄合計	33.55%

※ 各比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ ファンド概況

基準価額	3,797円
純資産総額	7百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として12月6日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	93.05%
うち現物	93.05%
うち先物	—
現預金等	6.95%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

12月の欧州株式市場で株価は上昇しました。米系格付会社が相次いで欧州諸国の格付を見直す方針を示したことなどから株価が下落する局面もありましたが、欧州連合(EU)首脳が域内諸国の財政規律の強化策などで合意したことや、ドイツのifo企業景況感指数(12月)や米国の住宅着工件数(11月)等が市場予想を上回り世界的な景気減速懸念がやや後退したことなどから株価は前月末比で上昇しました。

国別では、携帯端末メーカー株や電力会社株等の下げが影響したフィンランドやドイツの株価下落が目立った一方で、ヘルスカア銘柄等の上げに支えられたアイルランドやスイス、石油会社株の上げに支えられたオランダにおける株価の上昇が目立ちました。

業種別では、情報技術セクターの下落が目立った一方で、ヘルスカア・セクターの大幅な上昇やエネルギー・セクターなどの上昇も目立ちました。

コメントは、DWSの資料をもとに作成しております。

◆ 組入上位5カ国、5通貨および5業種[※]

国名	比率	通貨	比率
イギリス	25.12%	ユーロ	50.67%
ドイツ	23.15%	英ポンド	25.12%
フランス	11.95%	スイスフラン	10.22%
スイス	10.22%	スウェーデンクローナ	2.90%
スペイン	3.87%	ノルウェークローネ	2.58%

業種	比率
エネルギー	14.42%
素材	12.82%
資本財	10.08%
食品・飲料・タバコ	7.05%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.03%

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

米国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 フィデリティ投信株式会社

【投資顧問会社】 ピラミス・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

フィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンドへの投資を通じて、主として、米国の取引所に上場(これに準じるものを含みます。)されている米国企業の株式等を主要な投資対象として、S&P500の配当利回りを上回る配当利回りを目指します。また長期的な投資信託財産の成長も目指します。

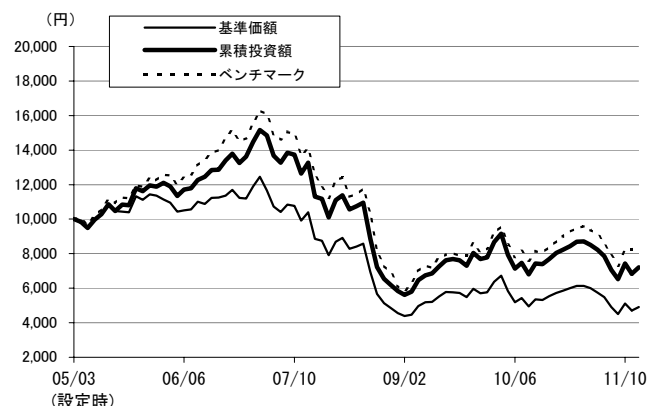
ベンチマーク: Russell 1000® Value Index (円換算)

2006年8月末付で、ベンチマークはRussell 3000® Value Index (円換算)から変更となりました。Russell 1000® Value Index およびRussell 3000® Value Indexはラッセルが公表している米国のバリュー株式に関する株価指数で、米国の主要株式によって構成されております。当該指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はラッセルに帰属します。

◆ 累積投資額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	5.38%	10.37%	-12.55%	-10.38%	16.41%	-27.99%
ベンチマーク	1.51%	14.71%	-8.73%	-4.17%	20.61%	-16.30%

◆ 基準価額、累積投資額 推移グラフ



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定前日(05/03)を10,000円として計算しています。

※基準価額は運用管理費用控除後です。

◆ 組入上位10銘柄※

(2011年11月30日現在)

順位	銘柄	業種	比率
1	CHEVRON CORP	エネルギー	4.56%
2	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.90%
3	BERKSHIRE HATHAWAY INC CL B	保険	3.89%
4	WELLS FARGO COMPANY	銀行	3.24%
5	JPMORGAN CHASE & CO	各種金融	2.83%
6	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェア及び機器	2.37%
7	OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	エネルギー	2.20%
8	CVS CAREMARK CORP	食品・生活必需品小売り	2.08%
9	THE WALT DISNEY CO	メディア	2.04%
10	CENTURYLINK INC	電気通信サービス	1.97%
組入全銘柄数: 92 銘柄		上位10銘柄合計	29.08%

・当資料は、フィデリティ投信株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

◆ ファンド概況

基準価額	4,907 円
純資産総額	8,813 百万円
設定日	2005年3月2日
決算日	原則、毎年3月10日、6月10日、9月10日、12月10日(休業日ときは翌営業日)
信託期間	原則無期限

◆ 資産構成比

(2011年11月30日現在)

実質株式組入比率	99.03%
うち現物	99.03%
うち先物	-
現預金・その他	0.97%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

12月の米国株式相場は概ね上昇しました。S&P500の騰落率は+0.85%、ダウ工業株30種平均は+1.43%、ナスダック指数は▲0.58%でした。

月前半は、11月の失業率の低下、ISM製造業景況指数の予想以上の改善など堅調な米景気指標が相場を支えたものの、引き続き欧州財政危機懸念が重石となり、冴えない展開となりました。ECB、独仏政府当局の発言や対応の振れに投資家も徐々に不信感を募らせました。またテクノロジー大手のなかにはタイ洪水の影響などから業績下方修正する企業も現れ、特にナスダック指数の足を引っ張りました。しかし月後半は、順調な新規失業保険給付件数の低下や好調な住宅着工件数から、これまで米国経済の重石となっていた雇用や住宅にも改善の兆しが認められたことで米景気楽観論が徐々に醸成され、相場は上昇に転じました。クリスマス商戦の好調や、南欧国債の入札が大過なく終わったことも追い風となり、相場はほぼ月間の高値圏で月の取引を終了しました。

当月のドル/円相場は、約0.90%の円高、ドル安となりました(1ドル=77.63円→76.94円)。

(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

◆ 組入上位5業種※

(2011年11月30日現在)

業種	比率
エネルギー	13.07%
各種金融	10.84%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.32%
資本財	7.26%
公益事業	6.58%

※各比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAIそな グローバル・ブランド・ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称:ティアラVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

【投資顧問会社】 アムンディ

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とする「CAIグローバル・ブランド・マザーファンド」受益証券を通じて、主として世界のブランド企業の株式に投資します。ブランド企業とは世界的な知名度、ブランド名を確立している企業で、以下のいずれかもしくは全ての要素を備えている企業をいいます。

- 高品質・信頼性のある商品・サービスを提供する企業
- 高い認知度・知名度を有する企業
- 伝統的・革新的な技術力・ノウハウなどを有する企業

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.09%	7.18%	-8.32%	-1.66%	54.14%	-25.98%

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	業種	比率
1	ネスレ	食品・飲料・タバコ	6.15%
2	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	食品・飲料・タバコ	4.70%
3	ペプシコ	食品・飲料・タバコ	3.56%
4	インベリアル・タバコ	食品・飲料・タバコ	3.47%
5	フリップモリス	食品・飲料・タバコ	3.29%
6	アンハイザー・ブッシュ・インベパ	食品・飲料・タバコ	3.15%
7	クラフト・フーズ	食品・飲料・タバコ	3.05%
8	ダノン・グループ	食品・飲料・タバコ	2.93%
9	ユニリーバ	食品・飲料・タバコ	2.88%
10	ダイムラー	自動車・自動車部品	2.66%
組入全銘柄数: 58 銘柄			上位10銘柄合計 35.83%

※ 各比率はマザーファンドの純資産総額比です。

◆ ファンド概況

基準価額	7,402円
純資産総額	26百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	91.24%
うち現物	91.24%
うち先物	0.00%
現預金等	8.76%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

12月の外国株式市場は、11月末の主要6中央銀行によるドル供給協調策を受けた欧米市場の急騰にアジア市場も追随して始まったものの、欧州の格下げ見通し、米国の量的緩和第3弾への期待の剥落、イタリア国債入札の不調などから下落しました。その後下旬に入り、独IFO景況感指数や米住宅着工など景気指標が予想外に改善をみせたことから、上旬の高値付近まで反発して月末を迎えました。2011年通年では、多くの株式市場で3年ぶりの下落を記録しました。欧州債務危機の深刻化と世界的な景気後退の懸念により株式市場の変動性が長期にわたって高止まりし、投資家は株式などのリスク資産から米英独の国債に資金を逃避させました。ほとんどの株式市場が下落するなか、急落する場面はあったものの2010年末とほぼ同水準に戻した米国が最良のパフォーマンスを示しました。新興国市場は先進国に比べ劣後しました。

◆ 組入上位5か国、5通貨および5業種*

国名	比率	通貨	比率
アメリカ	36.14%	米ドル	36.14%
イギリス	20.44%	ユーロ	22.22%
スイス	9.68%	英ポンド	20.44%
フランス	8.58%	スイスフラン	9.68%
ドイツ	5.75%	カナダドル	1.93%

業種	比率
食品・飲料・タバコ	46.26%
食品・生活必需品小売り	9.20%
小売	7.15%
メディア	6.23%
耐久消費財・アパレル	6.18%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

中国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA グラン・チャイナ・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、中国経済圏の株式に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.56%	1.41%	-20.50%	-22.53%	33.27%	-34.34%

◆ ファンド概況

基準価額	6,566円
純資産総額	66百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・グレーター・チャイナ	98.49%
CAマネープールファンド	0.41%
現預金等	1.10%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の香港株式市場は堅調に推移し、ハンセン指数(現地通貨ベース)が2.5%上昇しました。マクロ経済面では、中国の11月の鉱工業生産が前年同月比+12.4%と前月から伸びが縮小した一方、小売売上高は同+17.3%と内需の堅調さが示されました。CPI(消費者物価指数)は前年同月比+4.2%と市場予想以上の鈍化が見られました。輸出総額は前年同月比+13.8%と10月の同+15.9%から減速しました。香港では、11月のCPI(消費者物価指数、政府の物価対策の影響を除外したベース)が前年同月比+6.4%となり、項目別では食品価格および住宅賃料がともに同+8%超の伸びを記録するなど、依然としてインフレが懸念されています。10月の小売売上高は前年同月比+23.1%と、市場予想を上回る伸びとなりました。9-11月期の失業率は3.4%となり、8-10月期の3.3%から小幅に上昇しました。

「CA グラン・チャイナ・ファンドVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・グレーター・チャイナ」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	中国工商银行(ICBC)	金融(除く不動産)	6.45%
2	中国建設銀行(チャイナ・コンストラクション・バンク)	金融(除く不動産)	6.44%
3	中国銀行(バンク・オブ・チャイナ)	金融(除く不動産)	4.87%
4	中国移動(チャイナ・モバイル)	電気通信サービス	4.62%
5	中国海洋石油(CNOOC)	エネルギー	4.61%
6	友邦保険控股(AIAグループ)	金融(除く不動産)	4.06%
7	中国石油天然気(ペトロチャイナ)	エネルギー	3.86%
8	騰訊控股(テンセント・ホールディングス)	情報技術	3.19%
9	中国海外発展(チャイナ・オーバーク・ランド&インベストメント)	不動産	2.97%
10	中国石油化工(シノペック)	エネルギー	2.85%
組入全銘柄数: 56		銘柄	上位10銘柄合計
			43.94%

◆ 市場別組入比率

市場	比率
香港 ^{※1}	43.13%
香港(H株)	37.98%
香港(レッドチップ)	17.42%
台湾	0.00%
その他 ^{※2}	0.00%

※1 H株とレッドチップを除きます。

※2 その他にはADR/GDR(預託証券)及び株価変動債等を含みます。

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融(除く不動産)	39.84%
エネルギー	14.36%
不動産	10.23%
公益事業	7.64%
電気通信サービス	6.44%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

インド株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそなインド ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:マハラジャVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、インドの株式(ADR(米国預託証券)及びGDR(グローバル預託証券)を含む)に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-6.57%	-15.64%	-33.79%	-39.01%	23.85%	-45.27%

◆ ファンド概況

基準価額	5,473円
純資産総額	276百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・インディア	98.33%
CAマネープールファンド	0.42%
現預金等	1.26%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月のムンバイSENSEX30種指数(現地通貨ベース)は前月末比で4.1%下落しました。
 景気減速に対する懸念は根強く、インド株式市場は11月に続き軟調に推移し、2011年の取引を終えました。10月の鉱工業生産指数は前年同月比-5.1%となり、2年4か月ぶりにマイナスに転じました。この要因としては、18か月にわたる金融引き締めの影響や、輸出の減速などが挙げられます。11月のWPI(卸売物価指数)は前年同月比+9.11%と依然として高い水準にありますが、インド準備銀行(中央銀行)はこれまでの引き締め政策を変更する用意があり、今後は経済成長の促進にこれまで以上に焦点を当てることを示唆しました。

「マハラジャVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・インディア」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	比率
1	インフォシス	情報技術	9.01%
2	HDFC	金融(除く不動産)	8.26%
3	HDFC銀行	金融(除く不動産)	7.91%
4	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.52%
5	ITC	生活必需品	6.19%
6	タタ・コンサルタンシー・サービス	情報技術	5.04%
7	ICICI 銀行	金融(除く不動産)	2.72%
8	コタック・マヒンドラ銀行	金融(除く不動産)	2.53%
9	マヒンドラ・マヒンドラ	一般消費財・サービス	2.22%
10	ジュビラント・フードワークス	一般消費財・サービス	2.12%
組入全銘柄数: 62		銘柄	上位10銘柄合計 53.52%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融(除く不動産)	27.68%
情報技術	15.35%
一般消費財・サービス	12.80%
エネルギー	9.02%
生活必需品	8.57%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

インド・インフラ株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそなインド・インフラ株式ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:マハラジャ・インフラVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、インドのインフラ関連企業の株式へ投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-10.38%	-20.94%	-38.00%	-44.77%	8.96%	-56.21%

◆ ファンド概況

基準価額	4,379円
純資産総額	72百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・インディア・インフラストラクチャー	98.35%
CAマネープールファンド	0.67%
現預金等	0.98%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月のムンバイSENSEX30種指数(現地通貨ベース)は前月末比で4.1%下落しました。
 景気減速に対する懸念は根強く、インド株式市場は11月に続き軟調に推移し、2011年の取引を終えました。10月の鉱工業生産指数は前年同月比-5.1%となり、2年4か月ぶりにマイナスに転じました。この要因としては、18か月にわたる金融引き締めの影響や、輸出の減速などが挙げられます。11月のWPI(卸売物価指数)は前年同月比+9.11%と依然として高い水準にありますが、インド準備銀行(中央銀行)はこれまでの引き締め政策を変更する用意があり、今後は経済成長の促進にこれまで以上に焦点を当てることを示唆しました。

「マハラジャ・インフラVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・インディア・インフラストラクチャー」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	8.04%
2	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	4.53%
3	インドラプラスタ・ガス	公益事業	4.46%
4	ベトロネットLNG	エネルギー	3.70%
5	ゴドレジ・プロパティーズ	不動産	3.69%
6	アイデア・セラー	電気通信サービス	3.47%
7	マヒンドラ・マヒンドラ	一般消費財・サービス	3.05%
8	シュリー・セメント	素材	3.00%
9	アセンドス・インディア・トラスト	不動産	2.98%
10	マヒンドラ・マヒンドラ・フィナンシャル・サービス	金融(除く不動産)	2.57%
組入全銘柄数: 58 銘柄		上位10銘柄合計	39.48%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
資本財・サービス	25.73%
エネルギー	15.15%
不動産	11.89%
素材	10.70%
一般消費財・サービス	10.34%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

アジア株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそな アセアン・ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:メコンVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、アセアン諸国(東南アジア諸国連合)の株式等に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.95%	8.37%	-11.37%	-11.89%	73.66%	-29.98%

◆ ファンド概況

基準価額	7,002円
純資産総額	44百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・アセアン	98.37%
CAマネープールファンド	0.36%
現預金等	1.27%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月のMSCI東南アジアインデックス(米ドルベース)は、1.25%上昇しました。マレーシアおよびフィリピンのパフォーマンスが最も良好で、一方シンガポールが唯一マイナスのパフォーマンスとなりました。格付機関のフィッチが、インドネシアの信用格付けを、アジア通貨危機の1997年以来初めて投資適格であるBBB-に引き上げました。また、インドネシア国会は土地収用法を可決し、今後政府はインフラ整備プロジェクトの一層の推進が可能となりました。シンガポール政府が発表した2011年10-12月期のGDP(国内総生産)速報値は、前年同期比3.6%へと後退し、2011年通年のGDP成長率は4.8%と2010年通年の14.5%から大幅に減速しました。タイでは、大洪水後の復興活動が始まりましたが、これは2012年までかかると予想されています。

「メコンVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・アセアン」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	アストラ・インターナショナル	インドネシア	一般消費財・サービス	5.54%
2	シンガポール・テレコム	シンガポール	電気通信サービス	4.41%
3	インドモービル・サクセス	インドネシア	一般消費財・サービス	3.81%
4	ケッペル	シンガポール	資本財・サービス	3.66%
5	DBSグループ・ホールディングス	シンガポール	金融(除く不動産)	3.34%
6	バンク・マンディリ	インドネシア	金融(除く不動産)	3.29%
7	オーバーシー・チャイニーズ銀行	シンガポール	金融(除く不動産)	3.28%
8	カシコン銀行	タイ	金融(除く不動産)	3.16%
9	サブラクレスト・ペトロリアム	マレーシア	エネルギー	2.50%
10	バンク・ラヤット・インドネシア	インドネシア	金融(除く不動産)	2.46%
組入全銘柄数:		66 銘柄	上位10銘柄合計	35.45%

◆ 組入上位5か国および5業種

国名	比率	業種	比率
シンガポール	30.85%	金融(除く不動産)	31.78%
インドネシア	27.07%	生活必需品	17.27%
タイ	19.66%	一般消費財・サービス	14.89%
マレーシア	10.78%	資本財・サービス	14.87%
フィリピン	10.59%	エネルギー	9.37%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称: BRICsプラスVA>

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメント GmbH

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 ・毎決算時(原則として8月18日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.32%	3.36%	-21.88%	-24.21%	36.18%	-51.33%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ ファンド概況

基準価額	4,867円
純資産総額	128百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	94.85%
うち現物	94.85%
うち先物	—
現金等	5.15%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

12月の新興国株式市場はまちまちの動きとなりました。ブラジルのボヘスバ指数は前月比-0.2%となりました。追加的な政策金利引き下げや景気刺激策への期待から株価が上昇した局面はありましたが、欧州諸国の格下げ懸念により資源エネルギー関連企業の株価の下落が目立ちました。ロシアのRTS指数は前月比-10.3%となりました。欧州景気の減速懸念を背景とした原油価格下落によりエネルギーセクターを中心に株価は下落しました。大規模な反政府デモによるロシア政局の安定性に対する懸念も市場の重石となりました。インドのSENSEX30種指数は前月比-4.1%となりました。インド準備銀行副総裁の発言を受け利下げ期待が後退したことや、鉱工業生産指数(10月)が市場予想を下回り、経済成長への懸念が高まったことなどが株価の下落要因となりました。中国のハンセン中国企業(H株)指数は前月比+4.5%となりました。前月末に中国人民銀行が預金準備率引き下げを発表し金融引締策を一部緩和したことや、米国の良好な経済指標、スペイン国債の入札結果の好転などが好感されました。欧州債務不安は依然市場の動向を左右しています。解決に向けて幾つかの道筋がつけられたものの、解決には時間を必要とすると見られます。2012年の新興国経済は、昨年と比較して若干成長率は低下すると予測されています。当ファンドでは、世界経済の先行き不透明感が当面続くと思われ、現金配分を多めにし、保守的なポートフォリオで臨む方針です。

コメントは、DWSの資料をもとに作成しております。

◆ 組入上位10銘柄[※]

順位	銘柄	国名	業種	比率	
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	半導体・半導体製造装置	6.49%	
2	OAO GAZPROM SPON ADR	ロシア	エネルギー	4.37%	
3	SBERBANK-SPONSORED ADR	ロシア	銀行	2.33%	
4	SUN PHARMACEUTICAL INDUS	インド	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.23%	
5	IND & COMM BK OF CHINA - H	中国	銀行	2.20%	
6	BANK OF CHINA LTD - H	中国	銀行	2.17%	
7	LENOVO GROUP LTD	香港	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.17%	
8	ITAU UNIBANCO HLDNG-PREF ADR	ブラジル	銀行	2.16%	
9	BEIJING ENTERPRISES HLDGS	香港	資本財	2.10%	
10	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	2.06%	
組入全銘柄数: 69 銘柄				上位10銘柄合計	28.28%

◆ 組入上位5カ国および5業種[※]

国名	比率	業種	比率
ブラジル	17.43%	銀行	16.41%
中国(含香港)	15.85%	エネルギー	12.39%
インド	10.56%	素材	9.30%
ロシア	9.99%	半導体・半導体製造装置	8.33%
韓国	8.82%	運輸	6.10%

※ 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

【投資顧問会社】 株式会社 りそな銀行

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・わが国の公社債を主要投資対象とする「CA日本債券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」といいます) 受益証券への投資を通じて、NOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。マザーファンドの運用にあたっては、株式会社 りそな銀行に運用の指図に関する権限を委託します。
 ・ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)です。

※NOMURA-BPI(総合)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.61%	0.37%	1.39%	1.62%	5.13%	9.79%
ベンチマーク	0.63%	0.42%	1.48%	1.87%	5.81%	10.93%
差	-0.01%	-0.05%	-0.08%	-0.25%	-0.68%	-1.14%

◆ ファンド概況

基準価額	10,979円
純資産総額	59,771百万円
設定日	2007年10月3日
決算日	原則 10月2日
信託期間	無期限

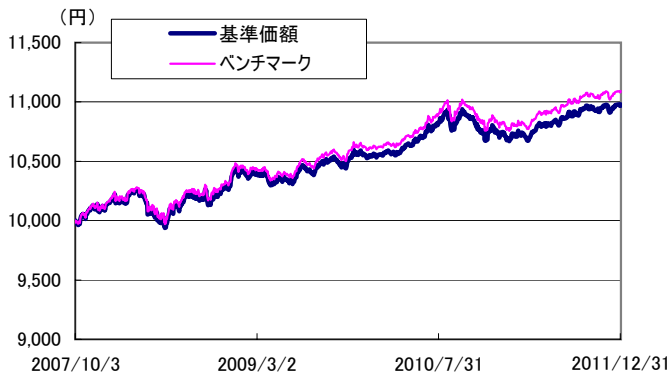
◆ 資産構成比

実質債券組入比率	99.68%
うち現物	99.68%
うち先物	0.00%
現預金等	0.32%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の国内債券市場は主に欧州債務危機の影響を受けて推移しました。国内長期金利(新発10年利付国債利回り)は、1.1%付近から1.0%割れまで低下した後、1.0%付近を中央とするレンジで推移しました。月初から国内長期金利は低下基調で推移しました。5日に米格付機関S&Pがドイツ、フランス等を格下げ方向で見直しに入ったことを受け、欧州債務危機の深刻化懸念が再燃しました。その後EU首脳会議で、ESM(欧州安定メカニズム)の開始時期前倒しが決定された一方、英国の財政規律厳格化への不参加表明や、フィンランドのESM離脱可能性示唆等から足並みの乱れも見られ、危機収束の期待が膨らまず安全資産逃避の思惑を背景に国内債券にも買いが入りました。加えて、15日に発表された日銀短観が予想を下回ったことも影響し、国内長期金利は19日にかけて1.0%割れまで低下しました。月末にかけては、年末を前に国内債券市場の動意は薄く、結局、国内長期金利は1.0%付近を中央とするレンジ内で推移し、月内の取引を終えました。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	利付国庫債券(10年) 305回	2019/12/20	1.30%	1.46%
2	利付国庫債券(5年) 87回	2014/12/20	0.50%	1.44%
3	利付国庫債券(5年) 71回	2013/3/20	1.30%	1.39%
4	利付国庫債券(10年) 312回	2020/12/20	1.20%	1.31%
5	利付国庫債券(10年) 286回	2017/6/20	1.80%	1.29%
6	利付国庫債券(5年) 89回	2015/6/20	0.40%	1.28%
7	利付国庫債券(10年) 309回	2020/6/20	1.10%	1.21%
8	利付国庫債券(10年) 285回	2017/3/20	1.70%	1.20%
9	利付国庫債券(5年) 85回	2014/9/20	0.70%	1.13%
10	利付国庫債券(10年) 296回	2018/9/20	1.50%	1.10%
組入全銘柄数: 366 銘柄		上位10銘柄合計		12.81%

◆ 種別組入比率**およびポートフォリオの状況

種別	ファンド	ベンチマーク
国債	76.46%	76.15%
地方債	7.40%	7.31%
金融債	1.32%	1.38%
政保債	4.48%	4.41%
事業債	8.53%	8.54%
円建外債	0.58%	0.70%
MBS	1.22%	1.37%
ABS	0.00%	0.15%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外国債 (RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

SG 海外国債インカムファンドVA (適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

○主な投資対象
主として国内籍の投資信託証券「アムンディ・海外国債 マザーファンド」を投資対象とします。このほか世界各国の公社債等に直接投資することがあります。

○投資方針
・主として日本を除くG7(アメリカ、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス)各国の政府または政府機関等が発行する債券(ソブリン債)に投資し、インカムゲインを中心とした安定的な収益の確保を目指します。ただし、市場環境によってはG7以外のOECD加盟国が発行するソブリン債に投資することがあります。・原則として為替ヘッジを行いません。・ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。※ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.20%	0.56%	-2.77%	1.45%	-6.50%	-21.43%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	US TREASURY N/B	2012/6/30	4.875%	9.06%
2	US TREASURY N/B	2014/5/15	4.750%	6.25%
3	US TREASURY N/B	2040/2/15	4.625%	5.77%
4	US TREASURY N/B	2016/5/15	5.125%	5.62%
5	US TREASURY N/B	2016/8/15	4.875%	5.56%
6	US TREASURY N/B	2017/5/15	8.750%	5.41%
7	US TREASURY N/B	2021/11/15	8.000%	4.52%
8	ITALY BUONI POLIENNA	2017/8/1	5.250%	3.28%
9	UNITED KINGDOM TREASURY	2021/6/7	8.000%	2.98%
10	FRANCE GOVT O.A.T	2016/10/25	5.000%	2.82%
	組入全銘柄数: 46 銘柄	上位10銘柄合計		51.26%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ ファンド概況

基準価額	7,857 円
純資産総額	34百万円
設定日	2007年10月31日
決算日	原則9月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	95.00%
うち現物	95.00%
うち先物	0.00%
現預金等	5.00%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

12月の海外債券市場は、米国、欧州共に上昇しました。イタリアは月中大きく変動したものの、前月末比でほぼ横ばいとなりました。

米国市場は、欧州の債務危機解決に向けた抜本的な解決には程遠いとの見方が強く、年末を控えて安全資産を求める動きから、米回国債は買われました。月後半になると、住宅にかかわる指標が堅調だったことや、その他の指標でも回復が見られたことで、債券価格は下落基調となりました。しかし、年末にかけては欧州に対する根強い懸念から米回国債が買われ、債券価格は前月末比上昇して月末を迎えました。

欧州も米国とほぼ同様の動きとなりました。イタリアは激しく乱高下したものの、前月末比ではほぼ同水準となりました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を0.25%引き下げて過去最低に並ぶ1.00%としました。

◆ 組入上位5か国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
アメリカ	51.81%	米ドル	51.81%
フランス	12.01%	ユーロ	34.32%
ドイツ	11.51%	英ポンド	10.76%
イタリア	10.80%	カナダドル	3.11%
イギリス	10.76%		

※2 各比率はマザーファンドの組入債券評価額合計に対する比率です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※3}	Aaa
修正デュレーション	6.31年
平均終利	1.87%
平均直利	4.53%

※3 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外投資適格債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・インカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
 ・主として、米国債券市場(社債等)へ投資するファンドとユーロ債券市場(国債等公共債・国際機関債・社債等)へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の着実な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.16%	0.43%	-7.45%	-1.72%	7.41%	-5.26%

◆ ファンド概況

基準価額	9,474円
純資産総額	29 百万円
設定日	2004年11月29日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

ドイチエ・米国投資適格社債ファンドVA(適格機関投資家専用)	49.83%
Amundi Funds ボンド・ユーロ・アグリゲート	4.61%
Amundi Funds ボンド・ユーロ・コーポレート	44.05%
現預金等	1.51%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の外国債券市場は、米国、欧州共に利回りが低下(価格が上昇)しました。米国市場では、欧州債務危機への政策対応が抜本的な解決には程遠いとの見方が強く、年末を控えて安全資産を求める動きから米国国債が買われました。月後半になると、住宅にかかわる指標が堅調だったことや、その他の指標でも回復が見られたことで、債券価格は下落に転じました。しかし、年末にかけては欧州に対する根強い懸念から再び米国国債が買われ、債券価格は前月末比上昇して月末を迎えました。欧州市場も米国とほぼ同様の動きとなりました。イタリアは激しく乱高下したものの、前月末比ではほぼ同水準となりました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を0.25%引き下げて過去最低に並ぶ1.0%としました。

2011年は欧州債務危機が継続した影響でボラティリティ(価格変動性)の高い展開となり、社債のスプレッドは2008年の金融危機以降で最も高い水準に拡大しましたが、12月の欧州投資適格社債市場では全セクターが堅調に推移しました。2011年通年では一般事業債のパフォーマンスが最も良好で、市場平均の投資収益を上回りました。社債市場の地合好転を受けて12月前半は発行市場で起債が活発化し、また、新発債に対する投資家の積極的な購入姿勢が伺われました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付*	A-
平均最終利回り	4.03%
平均直接利回り	5.69%
修正デュレーション	5.23年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外投資適格債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・インカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「ドイツ・米国投資適格社債ファンドVA(適格機関投資家専用)」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄^{※1}

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	格付	比率
1	GE キャピタル 6.9% 09/15/15	6.900%	2015/9/15	アメリカ	AA+	2.87%
2	バンク・オブ・アメリカ 7.8% 09/15/16	7.800%	2016/9/15	アメリカ	BBB+	2.76%
3	BHPピリトン 8.5% 12/01/12	8.500%	2012/12/1	アメリカ	A+	2.52%
4	ベライゾン・コミュニケーションズ 8.95% 03/01/39	8.950%	2039/3/1	アメリカ	A-	2.17%
5	ノーフォーク・サザン・コーポレーション 7.7% 05/15/17	7.700%	2017/5/15	アメリカ	BBB+	2.13%

◆ ポートフォリオの状況^{※1}

平均格付 ^{※2}	A-
平均最終利回り	3.92%
平均直接利回り	6.03%
修正デュレーション	6.64年
組入全銘柄数	90

◆ 組入上位5業種^{※1}

業種	比率
各種金融	20.34%
エネルギー	11.66%
メディア	10.57%
食品・飲料・タバコ	8.77%
保険	7.38%

※1 各比率、データ等はマザーファンドのデータに基づきます。
 ※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「Amundi Funds ボンド・ユーロ・アグリゲート」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	格付	比率
1	オランダ国債	1.000%	2014/1/15	オランダ	AAA	7.39%
2	オランダ国債	4.500%	2017/7/15	オランダ	AAA	5.31%
3	ドイツ国債	4.750%	2040/7/4	ドイツ	AAA	5.20%
4	ドイツ国債	0.250%	2013/12/13	ドイツ	AAA	4.53%
5	ドイツ国債	4.000%	2018/1/4	ドイツ	AAA	4.37%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※2}	BBB
平均最終利回り	2.53%
平均直接利回り	3.35%
修正デュレーション	4.40年
組入全銘柄数	149

◆ 組入上位5業種

業種	比率
国債	53.66%
カバードボンド	17.01%
金融	8.35%
産業	6.12%
政府機関	4.83%

※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「Amundi Funds ボンド・ユーロ・コーポレート」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	格付	比率
1	GEキャピタル	3.750%	2016/4/4	アメリカ	AA	1.33%
2	ドイツ国債	5.625%	2028/1/4	ドイツ	AAA	1.25%
3	カジノ・ギンヤール・ペラシオン	4.472%	2016/4/4	フランス	BBB-	1.18%
4	TPSA・ユーロファイナンス	6.000%	2014/5/22	ポーランド	BBB+	1.15%
5	GEキャピタル	4.875%	2013/3/6	アメリカ	AA	1.13%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※2}	A-
平均最終利回り	4.45%
平均直接利回り	5.73%
修正デュレーション	3.89年
組入全銘柄数	212

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融	60.80%
産業	26.35%
公益	5.88%
政府機関	1.72%
国債	1.25%

※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイールド債券 (RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイカムVA>

【運用会社】 アムディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
 ・主として、米国のハイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.83%	3.46%	-11.66%	-5.28%	42.91%	-20.87%

◆ ファンド概況

基準価額	7,913円
純資産総額	32 百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

PCA 米国ハイールド社債ファンドVA(適格機関投資家専用)	50.12%
Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイールド	48.30%
現金等	1.58%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月、米国高利回り社債市場は堅調な展開となりました。欧州債務危機拡大への懸念は継続しつつも、11月に比べて落ちつく局面も見られました。EU(欧州連合)首脳会議の結果を受けても、欧州各国の債務格付引き下げ懸念は払しょくされませんでした。欧州安定化メカニズム(ESM)稼働の前倒しが決定されるなど前進も見られました。また、米国経済指標は、11月のISM指数、雇用統計、新車販売、消費者信頼感指数などで、米国景気的好調さを示す内容が続き、市場を下支えました。

欧州ハイールド市場は、8日から9日に開かれたEU首脳会議の結果に対する失望感が一時的に広まりましたが、他に複数の好材料があったため、月後半に反発しました。米国では、住宅着工件数や耐久財受注などのマクロ経済指標が良好な内容となり、投資家の信頼感回復を促しました。欧州では、PMI(購買担当者景気指数)がリセッションを示唆する領域にまで低下したものの、ECB(欧州中央銀行)が12月と2012年2月に3年物資金供給オペを実施すると発表したことから、銀行の資金調達に対する市場の不安感が和らぎました。ただし、欧州債務危機の根本的な解決策は依然として打ち出されていません。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BB-
平均最終利回り	8.90%
平均直接利回り	7.87%
修正デュレーション	4.42年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイールド債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイインカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「PCA米国ハイールド社債ファンドVA(適格機関投資家専用)」の組入状況(債券評価総額比)

◆ 組入上位5銘柄^{※1}

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	格付	比率
1	ロイヤル・カリビアン・クルーズ	7.500%	2027/10/15	アメリカ	BB	2.37%
2	フロンティア・コミュニケーションズ	9.000%	2031/8/15	アメリカ	BB	1.96%
3	フォード・モーター	7.450%	2031/7/16	アメリカ	BB+	1.62%
4	INTL LEASE FINANCE CORP	5.650%	2014/6/1	アメリカ	BBB-	1.42%
5	AMSOUTH BANK NA	5.200%	2015/4/1	アメリカ	BB+	1.41%

◆ ポートフォリオの状況^{※1}

平均格付 ^{※2}	BB-
平均最終利回り	7.59%
平均直接利回り	7.79%
修正デュレーション	5.55年
組入全銘柄数	214

◆ 組入上位5業種^{※1}

業種	比率
サービス	15.90%
エネルギー	15.89%
通信	10.10%
メディア	8.64%
景気循環消費関連	6.78%

◆ 格付別比率^{※1}

格付	比率
A+	0.12%
BBB+	0.92%
BBB	0.28%
BBB-	9.40%
BB+	20.02%
BB	15.89%
BB-	13.52%
B+	13.86%

格付	比率
B	16.08%
B-	8.02%
CCC+	1.28%
CCC	0.60%
Total	100.00%

※1 各比率、データ等はマザーファンドのデータに基づきます。

※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	格付	比率
1	ケーブル・ドイツ	6.500%	2018/6/29	ドイツ	BB-	1.81%
2	ISSファイナンス	11.000%	2014/6/15	デンマーク	B	1.74%
3	ボンバルディア	6.125%	2021/5/15	カナダ	BB	1.66%
4	レクセル	8.250%	2016/12/15	フランス	BB-	1.64%
5	バージーン・メディア・ファイナンス	8.875%	2019/10/15	アメリカ	BB	1.58%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※2}	B+
平均最終利回り	10.55%
平均直接利回り	8.21%
修正デュレーション	3.40年
組入全銘柄数	159

◆ 組入上位5業種

業種	比率
メディア	16.44%
自動車	12.07%
サービス	10.22%
素材	9.99%
資本財	7.71%

◆ 格付別比率

格付	比率
A+	0.93%
A	1.11%
BBB+	0.85%
BBB	1.60%
BBB-	3.62%
BB+	10.55%
BB	19.75%
BB-	16.08%
B+	13.00%

格付	比率
B	12.97%
B-	9.32%
CCC+	1.25%
CCC	1.38%
CCC-	0.16%
CC	1.47%
NR	0.43%
CASH	5.54%
Total	100.00%

※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国国債(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

JPM新興国ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

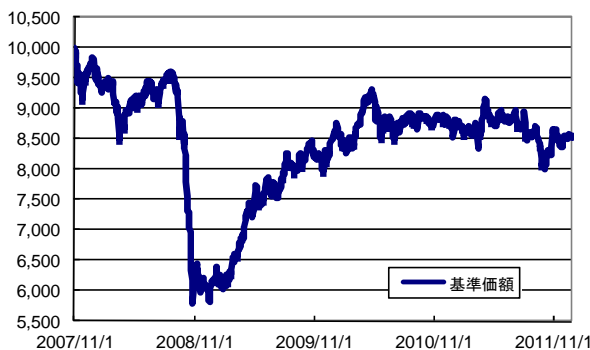
1. JPM新興国ソブリン・マザーファンドⅡ(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2. マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.05%	5.37%	-3.48%	-0.01%	37.91%	-14.62%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)を基に計算しています。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
基準価額は税引き前配分再投資、信託報酬控除後です。

◆ ファンド概況

基準価額	8,538円
純資産総額	61百万円
設定日	2007年11月1日
決算日	原則毎年9月6日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	100.24%
うち現物	93.29%
うち先物	6.95%
現預金・その他	6.71%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

12月の新興国債券の利回りは、前月末から小幅に低下(債券価格は上昇)しました。また、新興国スプレッド(新興国と先進国との利回り格差)は、若干拡大しました。当月も欧州債務問題の動きが投資家の注目を集め、新興国債券市場に影響を与えました。ECB(欧州中央銀行)が2ヵ月連続で政策金利を引き下げたほか、銀行への3年間の有担保融資など流動性支援策の導入を決定したこと等を背景に、債務問題の解決の動きへの期待が広がり、新興国債券を含めた債券利回りは低下しました。新興国の経済指標では、11月の中国とロシアの小売売上高や、ロシアの鉱工業生産が堅調となった一方、10月のインドおよびブラジルの鉱工業生産や、ブラジルの小売売上高が市場予想を下回りました。このように景気は各地域でまちまちの動きとなりました。

当月の当ファンドの基準価額は、前月末から上昇しました。ドル安によるマイナスを、債券利回りの低下によるプラスが上回ったことが、基準価額の上昇に繋がりました。国別に見ると、アルゼンチンやベネズエラへの投資等がプラスに寄与しました。投資行動では、ポーランドの保有比率を引き上げた一方、ロシアの保有比率を引き下げました。

新興国債券市場では、成長見通しの鈍化に注目が集まっています。欧州債務問題に起因した投資家のセンチメント悪化、資本流出懸念等がある中、新興国債券は経済指標や財政/金融政策対応に影響を受けやすと考えられます。また、2012年に債務の借り換えが予定されていることも留意するべきだと考えます。しかし、全体では市場を取り巻く不安材料は徐々に少なくなってきたと思われる、中長期的に見れば、財政が健全で、マクロ経済政策に信頼が置ける高格付けの新興国の国債を中心に新興国への資金流入が続くとの見通しに変更はありません。当ファンドの運用においては、市場の変動性に十分留意しながら、財政が健全で流動性が高く、且つ長期ファンダメンタルズに比べて割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

(2011年11月30日現在)

	銘柄	国	通貨	比率
1	BRAZIL 10% JAN14 NTN	ブラジル	ブラジルレアル	2.56%
2	RUSSIA MULTI MAR30 REGS	ロシア	米ドル	2.48%
3	BRAZIL USD 12.25% MAR30	ブラジル	米ドル	2.43%
4	LITHUANIA 5.125% SEP17 REGS	リトアニア	米ドル	1.92%
5	PANAMA USD 8.875% SEP27	パナマ	米ドル	1.84%
6	KAZMUNAIGAZ 11.75% REGS	カザフスタン	米ドル	1.79%
7	IRAQ USD 5.8% JAN28 REGS	イラク	米ドル	1.69%
8	PDVSA 4.9%	ベネズエラ	米ドル	1.65%
9	PHILIPPINES 10.625% MAR25	フィリピン	米ドル	1.63%
10	DOMINICA 9.04% JAN18 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.61%
組入全銘柄数:		112 銘柄	上位10銘柄合計	19.61%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ 組入上位5カ国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	9.89%	米ドル	91.07%
ブラジル	7.74%	メキシコペソ	3.47%
ロシア	6.35%	ブラジルレアル	2.25%
インドネシア	6.05%	ウルグアイペソ	1.11%
フィリピン	6.01%	ドミニカペソ	0.82%

※2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。
なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB
平均デュレーション	6.69年
平均終利	6.78%

*当資料は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
*最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

【投資顧問会社】 株式会社 りそな銀行

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.68%	6.35%	-10.99%	-4.93%	47.81%	-38.51%

◆ ファンド概況

基準価額	6,149円
純資産総額	175百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.53%
現預金等	1.47%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の海外REIT市場は小幅反発しました。上旬は、日・米・欧などの中央銀行による協調的な資金供給策を受けて欧州債務問題への不安が和らいだことから堅調に推移しましたが、中旬は欧州諸国の格下げ懸念やイタリア国債入札の不調などから下落しました。下旬は、米国の住宅着工などの経済指標の改善や、ECB(欧州中央銀行)の資金供給策の拡充などにより欧州金融機関の資金繰り懸念が緩和したことから上昇に転じました。国別では、米国が上昇、英国が下落しました。

日本のREIT市場は、月初は海外市場の上昇などから上昇する局面もみられましたが、その後固定資産税の軽減特例が一部廃止される方向と報じられたことやオフィス空室率が2か月連続で悪化したことなどが嫌気され軟調な展開となりました。月末にかけては、ホテル系REIT2社の合併が発表されましたが、月間では8か月連続の値下がりとなりました。東証REIT指数は前月末比1.5%の下落となりました。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国	通貨	比率
1	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	5.68%
2	WESTFIELD GROUP	オーストラリア	豪ドル	2.90%
3	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	2.89%
4	HCP	アメリカ	米ドル	2.55%
5	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.52%
6	UNIBAIL-RODAMCO	フランス	ユーロ	2.44%
7	VENTAS	アメリカ	米ドル	2.40%
8	BOSTON PROPERTIES	アメリカ	米ドル	2.14%
9	VORNADO REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	2.12%
10	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	1.97%
組入全銘柄数: 169 銘柄		上位10銘柄合計		27.60%

◆ 組入上位5カ国*

国名	比率
アメリカ	56.46%
日本	14.54%
オーストラリア	9.74%
イギリス	4.59%
フランス	4.23%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.01%	0.01%	0.02%	0.05%	0.22%	0.68%

◆ ファンド概況

基準価額	10,068円
純資産総額	935百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

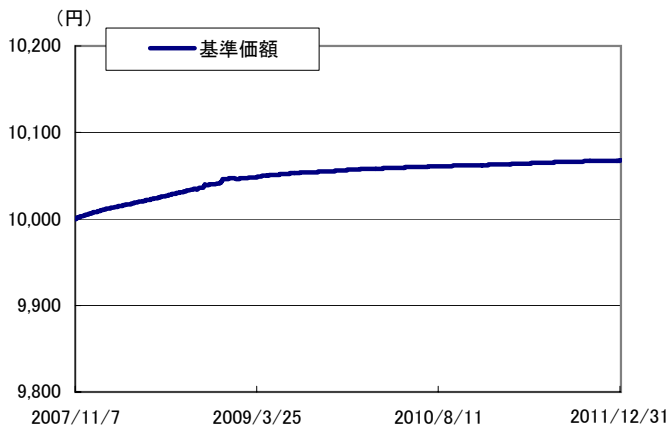
◆ 資産構成比

公社債	80.23%
現預金等	19.77%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位5銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第235回国庫短期証券	2012/5/14	21.39%
2	第205回国庫短期証券	2012/1/13	16.05%
3	第213回国庫短期証券	2012/2/10	10.70%
4	第220回国庫短期証券	2012/3/9	10.70%
5	第227回国庫短期証券	2012/4/10	10.70%
組入全銘柄数 6 銘柄		上位5銘柄合計	69.53%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意ください事柄

＜投資リスクについて＞

- 変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」は、一時払保険料から契約初期費用を控除した金額を特別勘定で運用し、その運用実績によって年金原資額、解約払戻金額、死亡保険金額、および積立金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定の運用実績の成果とリスク(価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等)は、保険契約者に帰属しますので、運用実績によっては年金原資額や解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、保険契約者に損失が生じるおそれがあります。

＜お客さまにご負担いただく費用について＞

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。
*年金原資を一括で受け取る場合、「年金管理費用」はかかりません。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
ご契約時	契約初期費用	保険契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料より控除します。
積立期間中	保険関係費用※1	死亡保険金の最低保証や、保険契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用※2	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等※3です。	信託報酬は 実質税込: 最大年率1.165% 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払期間中	年金管理費用※4	年金の支払や管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 マネープール(RG)を選択した場合、マネープール(RG)の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日までマネープール(RG)の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用の詳細は、「特別勘定のしおり」をご確認ください。

※3 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。

※4 年金管理費用は、将来変更される可能性があります。

＜その他＞

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また預金保険制度の対象ではありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面＜契約概要／注意喚起情報＞」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル

カスタマーサービスセンター 0120-60-1221

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(祝休日・年末年始の休日を除く)

Webサイト <http://www.ca-life.jp/>

CAL1201-MKB01RG05-1